九州新幹線

西鹿児島～新八代間レール締結式

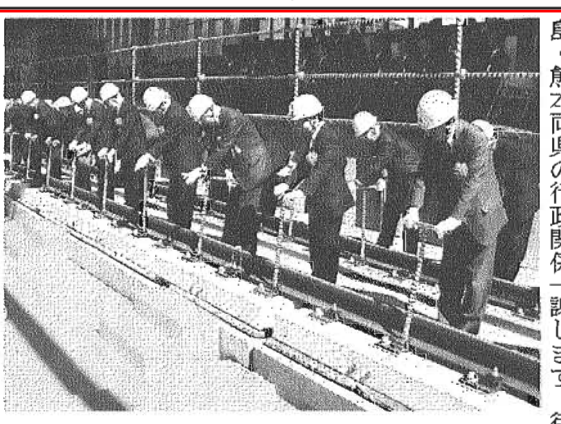
来春開業へ大きな一歩

日本鉄道公団九州新幹線建設局は2日、出水市の九州新幹線出水駅構内で16年3月開業予定の九州新幹線鹿児島ルート・西鹿児島～新八代間のレール締結式を行い、鹿児島・熊本両県の行政関係者や施工業者ら多数が出席して同区間127・5キロのレール締結を祝った。

式典の冒頭、高山博文九州新幹線建設局長が「沿線市町村や住民、地権者の方々のご協力に感謝します。待望の開通まで残りわずかとなったが気を緩めず頑張っていきたい」と挨拶。また、来賓の小里貞利衆議と須賀龍郎県知事が「世界に誇れる新幹線の新車両に乗れる日が待ち遠しい。南九州のみならず、九州全域の浮揚活性への貢献を期待している」「23年を目途としている博多までの全線開通に向けて九州各県と一体となって努力していこう」と言葉を寄せた。

レール締結では、須賀知事や潮谷義子熊本県知事をはじめ、赤崎義則鹿児島市長ら沿線市町村の代表者が最後のボルト32本をボックスレンチでコンクリート路盤に締め付けてレールを固定。坂本成弘鹿児島鉄道軌道建設所長らの安全点検の確認、軌道敷設を請け負った現場代理人による清めの儀に続いて、須賀知事らがテープカット、東出水小学校の児童16人がくす玉を割って締結を祝い、軌道モーターカーが渡り初めを行った。

同区間は平成3年に着工。区間内の構造は切取・盛土15キロ、橋梁9キロ、高架橋16キロ、トンネル88キロで、レール敷設は13年8月に本県側からのレール発進式を皮切りに両県で6工区に分けて実施されてきた。軌道構造はスラブ軌道115・3キロ、バラスト軌道12・3キロとなる。今後はレールの研磨など高さの微調整を行い、9月頃には走行試験が行われる予定。総工費は土木や駅舎建築などを含めて約6400億円。



最後のレールをボルトで固定する関係者（上）とテープカットを行う須賀知事ら＝出水市の九州新幹線出水駅構内で

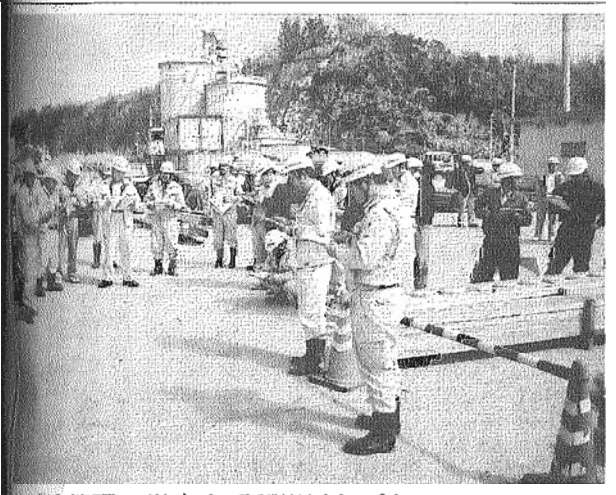
徳之島建設業協会パト

更なる安全管理徹底を

徳之島建設業協会（久保武二会長）はこのほど、管内現場9カ所を対象にした安全パトロールを実施、会員、発注機関関係者ら約30人が参加して労働災害絶滅に向けて、安全管理の徹底を呼び掛けた。

今回のパトロールは、①墜落・転落防止用の措置がなされているか②重機械などに安全装置がなされているか③安全施工サイクル運動を実施しているか－等を重点項目に、小郷団地緑地（2工区）・大沢建設、第3神嶺地区14の2・大田建設、前泊漁港地域水産物供給基盤整備（2工区）・米山土木など9現場を巡視。このうち、徳和瀬地区の現場で事務所内外の整理整頓、施工計画書等の関係の安全管理対策等を入念に点検。現場反省会では、概ね良好とし、現場代理人等へ更なる安全管理の徹底を呼び掛けた。

また、パト終了後に行われた合同反省会では、数件の指摘事項はあったものの、重点事項を中心に概ね良好な安全管理・現場管理がなされているとの講評があった。前田伍一副会長は「災害ゼロを目指して更なる安全管理に心掛け、年度末を乗り切ってほしい」と無事故での作業を訴えた。



安全管理の徹底を呼び掛けたパト
＝天城町の現場で

今別府産業 ISOセミナー

組織効率化など解説

今別府産業㈱ISOコンサルタント事業部は3日、鹿児島市の県市町村自治会館で第4回ISO企業向けセミナーを開き、ISOを企業戦略として認証取得を目指す関係者ら約20人が受講した。

ISO取得状況は、全国でISO9000Sが約3万社、本県企業で約500社、うち約7割を建設業が占める。また、ISO14001についても本県で約40社となり、今後の企業活動においては、ますますISOの重要性が高まっていく状況にある。

セミナーでは、初めに地頭薗洋夫常務取締役が「厳しい中でも、どの企業も売上拡大に努力している。ISOの必要性、意義は顧客満足の追及です。会社経営に一つでも意図することをつかんでいただきたい」と挨拶。

続いて、川原清孝同社ISOコンサルタント事業部次長を講師に、これから認証取得を目指す企業を対象にISOの意義や「品質」、「環境」の持つメリットなどを説明。同社の持つノウハウを通して、組織の効率化、顧客からの信頼感を向上させることなど、ISO取得までのプロセスからISOで会社が変わるということなどを詳しく解説した。

ISOの意義等を説明したセミナー
＝鹿児島市の県市町村自治会館で

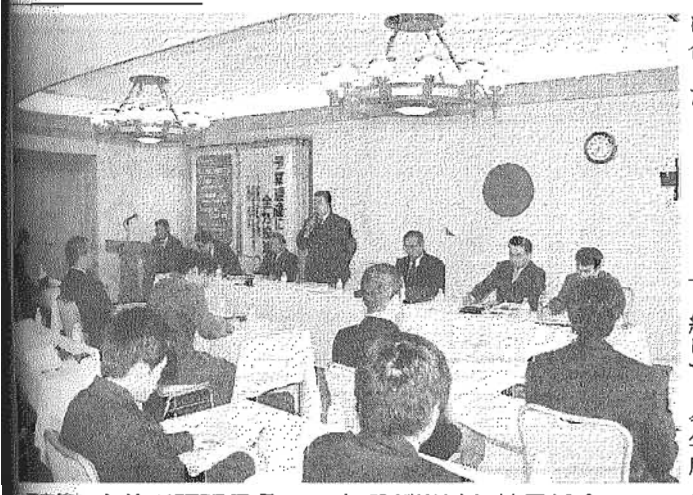
中央仮設グループ社員総会

顧客第一で地域密着

中央仮設グループ（濵崎和久社長）はこのほど、薩摩郡入来町の入来城山ゴルフ倶楽部で社員ら約70人が出席して社員総会を開き、顧客や地域に益するよう、全社員一丸となってまい進することを誓い合った。

総会では、物故者への黙とうの後、濵崎社長が「相変わらずの経済不況の中で厳しい状況が続いているが、今一度何をすべきかを考え、顧客第一主義で要望に応えられるよう、グループ全体を盛り上げていこう」と挨拶。

続いて、今年成人を迎えたハウス事業部の中薗祐樹さんら3人が決意表明を述べた後、濵崎一朗会長が中長期経営計画案として15年度予算書案・経営方針案などを発表したほか、県内の各ブロック長からそれぞれの現況などが報告された。この中で濵崎会長は「何事も前向きに考え、顧客第一に地域密着型で頑張っていこう」と呼び掛け、新年度に向けて全社員一丸となって業務に取り組むことを誓い合った。



顧客第一主義で頑張ろう――と呼び掛けた社員総会
＝入来町の入来城山ゴルフ倶楽部で

人情味豊かな喜入に在住

武田　清孝さん

喜入町商工会に配属されて3月で丸3年になります。業務内容は、商工業者の良き相談相手としてサポート。常に会員さんの状況を理解してあげるよう心掛けています。

プライベートではマラソンが好きで、毎年12月に開催される「喜入町つわぶきマラソン」と1月の「菜の花マラソン」にそれぞれ3回出場。今年の菜の花ではフルマラソンに挑戦し、タイムは4時間6分でした。

温暖で人情味豊かな喜入の土地柄が気に入り、昨年、マイホームを建てました。休日は2人の息子と遊ぶことが楽しいですね。また現在、息子と一緒に家族のホームページを作成中で近々開設する予定です。

息子達がもう少し大きくなったら家族4人でキャンプに行きたいですね。

（喜入町商工会）

鹿児島市
宇宿広木線

27日に開通式

鹿児島市が整備を進める都市計画道路宇宿広木線が、宇宿中間地区土地区画整理区域内から国道225号までの区間でこのほど完成し、27日午前10時30分から同市の現地で開通式を開く。